

吹屋ふるさと村

森の芸術祭 GO FOR 2027

問観光課　☎21-0217

「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027 高梁市のアート作品設置会場が決定！

10月22日(木)、「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会の第10回総会が津山市で開催され、高梁市内のアート作品設置会場が発表されました。

会場は「吹屋ふるさと村」「高梁市成羽美術館」「天柱山頼久寺」の３カ所です。アートディレクターを中心に県実行委員会が選定し､海外アーティストも市内を視察しました。

今後は、会場間の交通手段の整備や飲食の提供、関連イベントの開催など、芸術祭に向けた準備を進めていきます。歴史や文化、豊かな自然と現代アートが織りなす高梁の新たな魅力を、ぜひ芸術祭を通じて発見してみませんか。

※作品の詳細や関連イベントについては、決まり次第お知らせします。



高梁市成羽美術館　撮影：浅野 豪



天柱山頼久寺　撮影：浅野 豪

11月22日(日) 森の芸術祭プレイベントを開催！

「森の芸術祭 晴れの国･岡山」を広く知っていただき、アートを身近に感じてもらうため､11月22日(日)に開催される「親子ふれあい交流フェスタ」でプレイベントを開催します。

会場の高梁市民体育館には、体験・グルメ・スポーツコーナーなどが登場します。森の芸術祭体験ブースでは、廃木材を使った工作やベンガラ染め、石のアート作品に触れる体験が楽しめます。

食べて、遊んで、アートに触れて、芸術祭の魅力を体感してみませんか。

担当者からのメッセージ

「来年、森の芸術祭があるね！」という声を耳にする機会が増え、胸が高鳴っています。「アート」と聞くと難しく思えるかもしれませんが、特別な知識は不要です。作品を鑑賞するだけでなく、お気に入りの景色を共有したり、訪れる人を笑顔で迎えたりすることも素敵な参加の形です。

ぜひ、家族や友人にも芸術祭の話題を届けてみてください。一人ひとりの「わくわく」がつながり、高梁全体を包む大きな輪へと広がることを楽しみにしています。

まちのてきごと

公開講座「まちなかゼミナール」開催中！

11月１日(日)、吉備国際大学主催の公開講座「まちなかゼミナール」の後期講座が始まりました。初回は約20人が参加し、三宅優紀講師が「育てて学ぶ！植物と健康」をテーマに講演。楽しみながら行う園芸作業が心身の健康や幸福感につながることを紹介しました。講義後には、小学生から大人までがプランターづくりを体験。参加者は思い思いに工夫を凝らし、自分だけのプランターづくりを楽しんでいました。



ふれあい福祉講座・まちづくり研修会

10月30日(金)、「ふれあい福祉講座・まちづくり研修会」を開催しました。事例発表やパネルディスカッションが行われ、約130人が参加しました。パネルディスカッションでは、３団体のパネリストが登壇し、福祉や地域づくりについて、さまざまな視点から意見が交わされました。これからも安心して暮らし続けられるまちの実現に向け、地域で支え合うことの大切さを考える機会となりました。



備中名物「成羽愛宕大花火」

11月７日(土)、成羽町下原で開催され、約2,000発の花火が夜空を彩りました。名物の「大銀滝」をはじめ、キャラクターの絵や動く仕掛け花火など､来訪客を楽しませました。また、今年は来年開催される「森の芸術祭」をPRする仕掛け花火も披露され、今年も多くの人が訪れ、会場は大いににぎわいました。



鋤崎八幡神社の大祭（渡り拍子）

11月３日(火・祝)、備中町平川の鋤崎八幡神社で、県指定重要無形民俗文化財に指定されている伝統芸能「渡り拍子」が披露されました。花笠をかぶり、女衣や袴に襷を掛けた姿で、４人１組で太鼓を打ち、拍子木や鉦を鳴らしながら勇壮に舞い踊ります。伝統を受け継ぐ力強く華やかな演舞が、会場を盛り上げました。



高梁市の市外局番は「0866」です